

多層指導モデル^{ミ ム}MIMとは



子どもたちの学習を支える「読み」の中でも、「はっけん」の「っ」や、「おおきい」などののばす音にみられる「特殊音節」を含む言葉を速く、正確に読めるようにするための学習モデルです。

MIMにおける取り組み

子どもたちの伸びを把握し、適切な支援を行うため、月に1回のアセスメント（評価）を行います。

語をかたまりとして捉えることや、語彙の拡大などを目指して指導します。

絵に合う言葉探し

正しいのは何番かな？

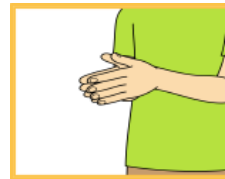


- | | | |
|------|-----|------|
| ③ | ② | ① |
| はっけん | はけん | はっけん |

3つの言葉探し

隠れている言葉は何？

ふくろけしきかめら
おちやぎよせんひやく
ミシンマラソンスケート



清音
きつつき



促音
かけっこ



拗音
いしゃ

特殊音節に応じて手を動かすような動作を取り入れて指導します。

かっぱくん
まっしろ
あらって
せっけんで



語をかたまりとしてとらえ、読みの速さが向上するよう指導します。

学習内容

- (1) 読みの時間・・・国語の授業において、毎月1時間程度、すべてのお子さんに対し、動作化、視覚化を取り入れながら指導をします。
- (2) アセスメント（評価）・・・月1回実施します。テストは、採点をしてお返しします。
- (3) 個別支援・・・つまずきが見られた場合は、個別支援を行います。

小学校1・2年生においては、言葉に着目した繰り返しの指導が大切です。MIMを活用することで、一人一人のお子さんの実態を把握し、効果的な指導を進めていきます。